

くにびき通信

2023年 4月号

大田市山村留学センター 三瓶こだま学園

ごあいさつ

はじめまして

センターから見える大山隠岐国立公園のひとつ「三瓶山」には例年残雪が見えるのですが、今年は4月になる前に残雪が見えなくなりました。日本全国地球温暖化の影響でしょうかセンターの周りの桜も例年よりかなり早く開花してすでに葉桜になりました。近くの山々も萌黄色、若草色や新芽の赤みを帯びた色が重なりなり、春爛漫というよりは一気に晩春の季節を感じます。とはいっても、まだまだ北三瓶では朝晩の冷え込みで0℃近くまで気温が下がることもあるので、体調管理には十分に注意してください。

さて、4月9日の日曜日、突き抜ける晴天のもと3年前ぶりにたくさんの地域の方や来賓の方をお招きして「入園のつどい」を開催することができました。本年度も全国各地から集まった7名の学園生は、三瓶こだま学園20期生として山村留学生生活をスタートしました。7名のうち3名は継続生で4名は初めての三瓶での生活です。3名の継続生は新入生の4名を引っ張って活動し、学園生みんなで元気に明るく楽しい学園をつくってほしいと思います。

最後に、学園生が北三瓶の地で生活していくためには、受け入れ農家をはじめ、学校の先生、地域の方々のご理解・ご協力が必要不可欠です。子どもたちが三瓶で充実した生活が送れますよう、温かく見守っていただき、時にご指導いただければ幸いです。今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

センター長 矢田孝之



4月の活動カレンダー



日にち	活動内容
4月9日(日)晴	入園のつどい
4月15日(土)雨	種もみまき、 筍掘り
4月16日(日)雨のち晴	田起こし

4/9 (土) 2023年度入園のつどい



一年を通じた活動用具、そして何より大田・三瓶地域の皆さんが、20期生達の来訪を心から待っていました。学園生一人ひとりが飯盒に生けたクロモジは、これからの新たな山村留学生活に胸を高鳴らせる、皆の姿に瓜二つでした。途中、学園生が立ち上がる時に転んでケガをするという、思わぬハプニングも発生しましたが…(その子は一週間で走り回るほど元気になっています)皆きっと、想定外の痛みを知った分だけ学び、負けずに立ち上がった分だけ逞しくなります。ケガと体調には気を付けて、楽しく学び多き経験を積み重ねていきましょう！



4/15 (土) 種粃まき

毎年恒例の稲の種粃まき。この日種粃まきの指導役として、受入れ農家さんでもある矢田の父さんに来ていただきました。学園生の皆は、先日の学校の授業でもこの種粃まきを経験したそうですが、その分土の敷き方や種のまき方も慣れたもの。技術がどんどんレベルアップしているようです。次、田んぼに植えに行くのが楽しみだね！



4/15 (土) 筍掘り

種粃まきを終えたその日の午後はじゃがいも植えを行う予定でしたが、あいにくの雨模様で畑仕事は断念することに。その代わりに、近場の竹林まで筍掘りへ行きました。小雨が降る中、皆で「筍のてっぺん」を大搜索。たくさんの筍が採れました。なかには、林の木々を楽器に見立てて遊びだす学園生も！皆の発想力には脱帽です。



4/16 (日) 田起こし

学校近くの田んぼをお借りし、鋤を使い昔ながらの方法で田起こしをしました。数十分で手にマメができたり、後半になるにつれて皆の口数が少なくなっていったり、それはもう大変な作業。ですが、度々学校の先生や地域の方が様子を見に来てくださったり、休憩時間の飴玉が美味しかったり。作業を終えた後の達成感はひとしおでした！

朝のつどい・自然のおはなし

山村留学では毎朝「朝のつどい」を行います。ラジオ体操、やまびこ挨拶と合わせて指導員が「自然のおはなし」をします。敷地の植物、通学路の木々、毎日見ている何気ない風景が、いつもと違って見える不思議なおはなしです。

二十四節気と清明



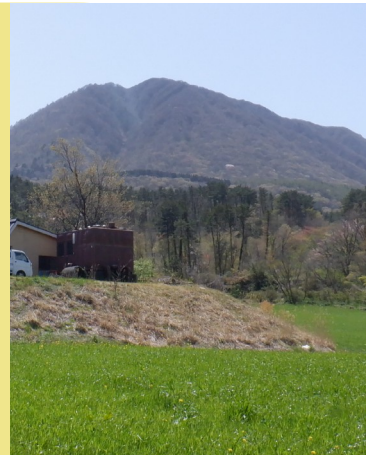
日本の暦には「二十四節気」というものがあります。24の季節の移り変わり目を、言葉で表したものです。「春分」というのは、春分の日とかで皆も聞いたことがあるかな？今は春の中でも、「清明」という季節です。花が咲いたり山菜が出たり、春の始まりを告げる時期と言われています。この二十四節気は食堂の壁にかけておくので、ぜひ季節毎に見てください。(稲井)



山の色、新芽の色



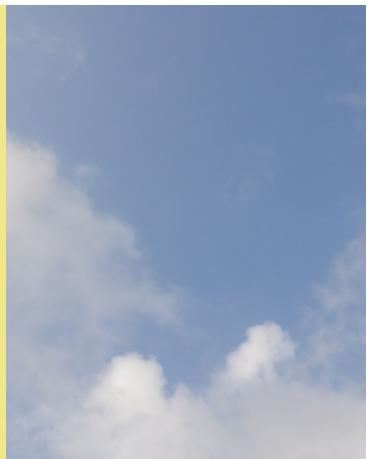
周りの山を見てください。近くの木、三瓶山の木、何色に見えますか？赤っぽいものもあれば、薄い黄緑色のものもあれば、濃い緑色のものもありますね。特に今は季節が春なので、新芽の色がよく見られます。僕、この木々の色が大好きなんだよねー。これから季節が変わる度に、木も山も色が変わっていきます。これからはぜひ注目して見てみてくださいね。(浅平)



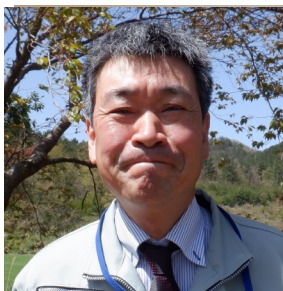
空が青色の理由



今日は気持ちのいい快晴ですね！ところでなぜ空って青色なのでしょう。実は太陽の光は色んな色で出来ていて、私たちが立っている場所と太陽の距離で見えやすい色が変わるんです。太陽が真上にあると青色が良く映えて、逆に山の方まで遠いと橙色になります。だから夕日はオレンジなんだね。綺麗な青空も夕空も、ある種太陽の恵みなのかもしれませんね。(児玉)



2023年度 三瓶こだま学園 スタッフ紹介



やだ たかゆき
矢田 孝之

大田市教育委員会
センター長



にしむら たかし
西村 崇司

大田市教育委員会
主任



いない ゆうすけ
稲井 祐介

育てる会
主任指導員



あさひら たいち
浅平 泰地

育てる会
指導員



こだま あや
児玉 彩

育てる会
指導員



ほそかわ しずこ
細川 志津子

育てる会
厨房職員



西村崇司のつぶやき

＼ですよね／

変なところで気になることがあります。わたしはテレビはほとんど見ないので正しいかどうか分かりませんが、テレビのニュースやラジオのトーク番組で「ですよね」の語尾がやたら増えたように感じています。相手の話しにあいつちを打つ、賛同するといったニュアンスでしょうか。同じ目的でも以前は「ですな」という言い方だったはずですが会話のなかではそう頻繁に使われず、年下が年上に使うのが少しはばかれたような記憶があります。良い意味ではお互い公平で居心地の良い親しみのある会話のための演出でしょうが、当たり障りなくどちかという肯定しますや暗に同調を求めるといった感じがありどこか居心地の悪さを感じます。わたしの場合は、「〇〇と思うが、どがだかな（あなたはどう思う）」といった粗野で直球勝負の石見弁の言い方をすることが多いのでそりゃあ違和感を感じるんでしょう。この体で1年間このコーナーを書きますのでおつきあいください。

ただ、これまではこのコーナー用のネタをメモに残し書いてきましたが、この1、2年はスクラップやメモを忘れたり、とったはず（と思い込んでいる場合もあります）のメモがどこにいったのかわからなくなったりすることが多くなりました。ということでいつまで続けられるか自信がなくなっています。あしからず。

「くにびき通信」2023年4月号

大田市山村留学センター こだま学園



HP

〒694-0002 島根県大田市山口町山口 1694
TEL: 0854-86-0700 FAX: 0854-86-0701
Email: o-sanryu@city.oda.lg.jp



大田市
山村留学センター
Sanbe Kodama Academy